



## 駒場東邦中学校、バイオテクノロジーについて学ぶ

実施日：2013年10月5日

デュポン株式会社は、次世代を担う子供たちに科学の楽しさや不思議を発見してもらうことを目指し、デュポンの事業活動を生かした社会貢献活動を実施しています。

2013年10月5日(土)に、駒場東邦中学高等学校の生徒20名を溜池山王本社に招いて、バイオテクノロジーに関する講義ならびに実験を行いました。

講義ではデュポンの歴史や身近なデュポン製品の紹介後、バイオテクノロジーが生活に近い存在であることをクイズを交えて説明、またバイオテクノロジーが食生活においてどのような恩恵をもたらすかについて一緒に考えました。

続く実験では、植物のDNAを観察したり、非組換えトウモロコシと遺伝子組換えトウモロコシの苗を使ってたんぱく質の検出を行いました。

参加した生徒からは、「バイオテクノロジーや遺伝子組換えについて、正しい事や良い面を知ることができて良かった。自分で調べてみるのが大切だと思った」「色々知らなかったことを知ることができ、バイオテクノロジーが身近なものだとわかり良かった・驚いた」「これからも、新しいバイオテクノロジーができればいいなと思った」などの嬉しい声を聞くことが出来ました。また、先生からは「学校ではなかなか難しい実験を体験でき、生化学の先端の実験をイメージすることができました」と感想をいただきました。

